

令和3年第6回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和3年6月28日(月)
午後2時55分～午後3時34分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 会議室
3. 出席した委員 教 育 長 新 子 寿 一
教育長職務代理 山 崎 裕 行
委 員 田 中 保 和
委 員 近 藤 温 子
4. 出席した職員 教 育 部 長 福 島 潔
教 育 監 中 平 好 美
健康福祉部長 石 橋 敬 三
こども育成課 石 橋 智 成
教育総務課長 栗 田 聖 子
スポーツ推進課長 磯 部 賢 二
学 務 課 長 井 原 啓 裕
事務局教育総務課 井 上 敦
5. 議事案件
議案第21号 柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会に対する諮問について

議案第22号 柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会委員の委嘱について
6. 報告事項
7. 会議録の承認及び会議の要旨
新子教育長： 定刻より少し早いですが、お揃いでございますので、令和3年第6回定例教育委員会会議を開会します。本日の会議録署名委員は、山崎委員です。よろしくお願います。次に、事前に送付させていただいております会議録につきまして、ご意見等ございませんか。
委員全員： なし。
新子教育長： それでは、本日の議事に入ってまいります。本日は議案が2件出ております。

どうぞよろしくお願いたします。それでは、議案第21号について、学務課井原課長より説明をお願いします。

井原課長： ご説明申し上げます。議案第21号「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会に対する諮問について」学務課よりご説明いたします。

はじめに、柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会についてご説明いたします。なお、以降審議会と言わせていただきます。平成27年3月に審議会規則を制定し教育委員会の附属機関として設置いたしました。その後、平成27年度に、学校の小規模化によって生じる教育上、学校運営上の課題を検討するとともに、今ある学校の地理的状況や今後の就学人口の見込み、教育施策やまちづくり等の観点から総合的に勘案して、今後の市立小・中学校の在り方と教育環境の整備について、ご審議いただきました。そして平成28年2月に答申をいただき、平成28年9月に柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針を策定いたしました。

基本方針には、基本方針策定後においても、社会情勢や人口推計の変化に注目し、概ね5年毎に基本方針を見直すことが記載されています。また、基本方針策定当時と現在を比較しても、全国的な少子化の進行に変化はなく、本市においても児童・生徒の数が年々減少し、その傾向は今後も続くと思われます。本市の学校規模の考え方は、小規模校を11学級以下、中学校を8学級以下と定めています。今年度、桜坂小中学校を除くと、11学級以下の小学校の小規模校は、9校中4校、柏原東小11学級、堅上小6学級、堅下北小9学級、堅下南11学級。8学級以下の中学校の小規模校は、中学校では6校中2校、堅上中3学級、堅下南中6学級でございます。そこで、本市立小・中学校において、より良い教育環境を整備し、充実した学校教育を実現するため、本市立小・中学校の適正規模・適正配置についてご意見を伺う必要がございます。以上のような、経緯と理由から、今回の諮問事項を、記載の2点とさせていただきます。お手元の諮問書案をご覧ください。

(1)本市立小・中学校の学校規模・学校配置の適正化についての基本的な考え方に関すること
(2)小中一貫教育を推進する観点からの本市立小・中学校の適正規模・適正配置の方策に関すること。以上の諮問事項の審議を行うために、議案にありますように審議会に諮問したいと考えております。以上でございます。よろしくお願いたします。

新子教育長： ご質問、ご意見等ございましたらお願いたします。5年毎に見直すということで、平成28年度からかなり状況も変わってきております。少人数学級を進めていくという話もでております。そういったことも含めて考えていかなければと思ひますが。

山崎委員： 諮問書案についてですが、「次の項」という記載がありますが、「事項」が正しいのではないのでしょうか。

井原課長： 修正いたします。

田中委員： 参考資料で前回の答申があったのですが、7ページの表の1の推移予測と8ページの表の2の推移予測で、表の2が増えているようですが、沢山来られたと想定してということですか。

井原課長： 表の1と2で採用している項目が違います。表の1は国立社会保障・人口問題研究所出典の「日本の地域別将来推計人口」を用いており、表の2は柏原市の「まち・ひ

と・しごと創生柏原市人口ビジョン将来人口推計」を用いています。

田中委員： 希望的観測で多く出ているということですか。

井原課長： 希望と申しますか、柏原市のビジョンで考えたらこう予測されたと。

田中委員： 現実には7ページに近い。

井原課長： そうです。

新子教育長： 他にいかがでしょうか。

山崎委員： 基本方針の最後のページですが、私の感想を述べさせていただきます。少子化のペースが速くて、学級数を維持できるか。小中一貫教育をどのように進めていくか。大変だなと。仕組みを変えるということなので。とても心配をするとともに期待もしておりました。平成28年9月に答申ができて、約3年で国分東小学校と国分小を統合された。地元の了解も得て非常に上手に統合した。すごいなと、なかなか大変なことだと感激しておりました。今回5年経ったので見直しというわけですが、今後は何を目指していくのかというのが難しいですね。少子化で学級数が減っているから学校を統合しようか、というのは難しいですね。小中一貫教育、義務教育学校をどのように進めていくか。前回の基本方針では柏原中学校区では施設一体型を平成37年度、あるいはほかの中学校区でも、例えば国分中学校区では平成43年度と書いてきた。これらは大きな予算を伴う話であって、教育委員会にとって重荷になるだろうと思います。委員は自由に意見できますが、事務局は大変だと思います。心配をしながらどのように持っていくか私たちも考えていきたいと思っております。

新子教育長： ありがとうございます。他にございますでしょうか。

田中委員： 最後のページですが、柏原中学校区がもう少し早く一体化できるはずだったかと思いますが、遅れる原因はどういったことでしょうか。国分についてももっと早くできないかなと思います。

新子教育長： 事前に事務局でも話をしておりまして、また審議会でご意見も伺うのですが、ご存知のとおり柏原は小さい地域の中で学校も多いです。平成28年に掲げられたものを継続するのか、もう少し時間を見ていくのか。校舎も一体化となると教室、階段も変えなければなりません。今ある施設を利用するにしても改装は必要になります。従って子ども達の人口推移も見据えながら判断しなければなりません。コロナ禍で予算も厳しい財政状況にありますので慎重に検討しなければと思っています。

福島部長： 実務的な話をさせていただきますと、平成28年にもともと耐震化を段階的に進めていって、最後に残ったのが柏原中学校で、最終的には耐震化工事を行いました。この工事には国からの補助金、起債が入っていますので、今の時点で平成37年や平成43年に一体型を新たに作るというのは非常に難しいと思います。もちろん今まで委員先生方には小中一貫教育等に取り組んでいただいておりますけれど、建物を新しくというのは現状では非常に難しいと思います。

田中委員： ここに書いている国分中校区とか堅下北中校区というのは改築などせずという想定ですよ。それであれば費用もかからないのかなと。八尾市の高安小中学校なんかは高校の跡地利用でやっておられるので、そのあたりも参考に見ていけばいいかと思いま

すが。

新子教育長： 確かに。清友高校跡ですね。施設一体型は魅力ありますが、柏原は小中一貫教育を早くからやっていたからね。すでに交流はできていますのでね。何分厳しい状況の中で、この5年の間に変えていけるのか、このような形で出す以上は、出来るだけ現実に伴うような形で進めていかなければと思うので、しっかり考えていかなければと思います。

田中委員： 分離型で東大阪市はやってますよね。それであれば今のままで可能ですよね。

新子教育長： 一貫教育という形でするならば、行き来のしやすい1小1中であれば出来ると思います。いずれ一体化するという事も含めて。他にございますでしょうか。

委員全員： 異議なし。

新子教育長： それでは、議案第21号柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会に対する諮問については、原案どおり承認することにいたします。次に、議案第22号について、引き続き井原課長より説明をお願いします。

井原課長： 議案第22号柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会委員の委嘱について学務課よりご説明いたします。柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会規則をご覧ください。同規則第3条第2項のとおり、委員は15名以内で組織するものとし、学識経験者、公共的団体等の代表者、柏原市立小学校及び中学校の校長の代表者、ほか、教育委員会が必要と認める方でございます。公共的団体につきましては、各校の健全育成会に概ね入っていただいております。児童生徒や地域、学校の様子をよく知っていただいている団体の方々を委員にと考え、前回と同じ団体へ依頼致しました。現在、学識経験者2名、公共的団体等の代表者6名、柏原市立小学校及び中学校の校長の代表者2名の方の承諾を得ております。合計10名の委員の方々と審議を行っていただこうと考えております。以上でございます。よろしくお願いたします。

新子教育長： ご意見、ご質問等あればお願いたします。

委員全員： なし。

新子教育長： ないようでございますので、議案第22号柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会委員の委嘱について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員： 異議なし。

新子教育長： それでは、議案第22号柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会委員の委嘱については原案どおり承認することにいたします。

新子教育長： それでは本日の議事案件は以上でございます。

(石橋こども育成課長から令和4年度幼稚園児募集について、磯部スポーツ推進課長より市内体育施設について報告あり)

以上で、第6回定例教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員